



～いけがみ歯科は、頑張るあなたを応援しています～

# 歯っぴ～通信

5月号

平成21年 Vol.17

## 再製にご理解を

今まで歯医者さんで、「来週歯をかかれます」とか「入れ歯が出来上がります」とかと言われたのに出来上がりが良くないのでもう一度型を探り直された経験はありませんか？それは「再製」というものです。なぜ再製が生じてしまうのでしょうか？原因は様々です。私たちの技術不足や技工士さんのエラーもあります。それ以外にも原因があり、原因追及が不可能なこともあります。たとえば、型を探る材料や流し込む石膏の寸法などの精度が狂っていたり、変形・ひずみが起こっていたり、またかぶせ、詰めものが出来るまでの間に歯が移動したり歯ぐきの形が変わったりすることなどがあげられます。数ミクロン合わないだけでも、ばい菌たちには心地よい住みかになってしまふんです。多少合っていないでも噛めると思いますが、将来、またむし歯になったり、不都合がでたりする可能性が高くなってしまいます。再製にならないように努力していますが、それでも再製ということがあることをご理解をおねがひします。

## 実りへ向けて・・・！

こんにちは。いけがみ歯科クリニック院長の池上誠です。今月も患者様とのコミュニケーションのための【歯っぴ～通信】をお届けしますね。5月になりましたね。先日、実家の御津までの道のりで、山を眺めていると「緑のまぶしさ」が目につきました。新緑が芽吹き、夏へ向けて葉を茂らせている様をまじまじと感ずることができたんですね。植物は、この時期にいかにたくさんの葉をつけるかで、夏に光合成できる量が決まるらしいんです。もちろんそれが、秋の実りにつながるわけでして、この時期の芽吹きに勢いがあるのもうなずけます。また、桜のあと、山々には、ツツジ、藤、桐なんかの花が咲いていて、そちらも目を楽しませてくれました。自然はきちんと四季どおりにめぐっているのです。これから梅雨までの季節は田んぼや畑も含めて、自然界は、新しい実りへ向けての動きが目に見えます。そんな時期だけに、私も自分の生活を振り返り、今年の実りへ向けて、目に見える形で行動し、結果を出していこうと思ったのでした。

院長 池上誠

## 歯っとする話⑮ ～キーン～

これ(右の写真)がみんなが歯医者に行きたくない、怖いと思わせてるキーンというむし歯を削る正体です。タービンと言います。でも、写真で正体を見たらすこしは安心しませんか？めっちゃくちゃ固い歯を削るために高速で回転させないといけなくて圧縮した空気を送って回転させてます。だからキーンというあのいやな音がでるんです。この器械の良いところは先にライトがつくことで、暗い口の中では削る部分が良く見えてとても治療がしやすいです。このキーンって音がもう絶対いやって方は音がしにくい器械もありますよ。ただ、キーンってならないようにふだんから歯を大切にケアしていきましょうね。



## アンケートの中で【あなたの声】を聞かせて下さい

治療後に記入していただいているアンケートで「あなたの声をきかせてください」とお願いしています。そのアンケートで寄せられた【あなたの声】は、ご本人の了承を得てこの【歯っぴ～通信】で紹介させていただいています。あなた様からの生の声は、私たちスタッフにとっては何よりものびみであり、エネルギーの源であります。是非【あなたの声】を聞かせてください。



いけがみ歯科クリニック  
TEL (086)237-7731



〒700-0827  
岡山市平和町6-27  
WAKAビル2F  
西川池田・岡山駅から10分  
発行：池上 誠